

科目名	骨折理論（上肢）							年度	2026		
英語科目名	Bone fracture theory (The arms)							学期	前期		
学科・学年	柔道整復科 2年次			必/選	必	時間数	30	単位数	2	種別※	講義
担当教員	杉本知、後藤晃弘、青木伊之、加藤健太、宮本功三、秋田雄大、有山敦士			教員の実務経験		有	実務経験の職種		柔道整復師(接骨院にて勤務経験あり)		
【科目の目的】 上肢の骨折を学び、症状から整復実技や固定実技を行う。											
【科目の概要】 部位別の具体的な外傷の成り立ちや施術方法について学びます。											
【到達目標】 柔道整復施術の観点から上肢の骨折を、部位別に具体的な外傷の発生機序、症状（一般外傷症状・固有症状）、病態や整復・固定・後療法などの施術の判断や方法に至るまでの注意事項を学ぶ。これらを踏まえ運動器の機能解剖から、骨片の転位、整復、固定について判断できる能力を付ける事を到達目標とする。											
【授業の注意点】 実技的要素が高く卒業後は患者の体を扱うため、学生間・教員と学生のコミュニケーションを重視するとともに、授業中の私語や受講態度などには厳しく対応する。理由のない遅刻や欠席は認めない。授業に出席するだけでなく、社会への移行を前提とした受講マナーで授業に参加することを求める。											
評価基準＝ルーブリック											
ルーブリック評価	レベル5 優れている	レベル4 よい	レベル3 ふつう	レベル2 あと少し	レベル1 要努力						
到達目標 A	上肢の骨折の概説について大変良く理解している	上肢の骨折の概説について良く理解している	上肢の骨折の概説についてだいたい理解している	上肢の骨折の概説についてあまり理解していない	上肢の骨折の概説について全く理解していない						
到達目標 B	上肢の骨折の発生機序について大変良く理解している	上肢の骨折の発生機序について良く理解している	上肢の骨折の発生機序についてだいたい理解している	上肢の骨折の発生機序についてあまり理解していない	上肢の骨折の発生機序について全く理解していない						
到達目標 C	上肢の骨折の症状について大変良く理解している	上肢の骨折の症状について良く理解している	上肢の骨折の症状についてだいたい理解している	上肢の骨折の症状についてあまり理解していない	上肢の骨折の症状について全く理解していない						
到達目標 D	上肢の骨折の徒手整復や固定について大変良く理解している	上肢の骨折の徒手整復や固定について良く理解している	上肢の骨折の徒手整復や固定についてだいたい理解している	上肢の骨折の徒手整復や固定についてあまり理解していない	上肢の骨折の徒手整復や固定について全く理解していない						
到達目標 E	上肢の骨折の合併症や後遺症について大変良く理解している	上肢の骨折の合併症や後遺症について良く理解している	上肢の骨折の合併症や後遺症についてだいたい理解している	上肢の骨折の合併症や後遺症についてあまり理解していない	上肢の骨折の合併症や後遺症について全く理解していない						
【教科書】 教科書（柔道整復理論-社団法人全国柔道整復学校協会 監修-）に準拠する。											
【参考資料】											
【成績の評価方法・評価基準】 試験と課題を総合的に評価する。											
※種別は講義、実習、演習のいずれかを記入。											

科目名		骨折理論（上肢）			年度	2026
英語表記		Bone fracture theory (The arms)			学期	前期
回数	授業テーマ	各授業の目的	授業内容	到達目標＝修得するスキル	評価方法	自己評価
1	鎖骨骨折	鎖骨骨折の発生機序、症状、転位を知る。	1 発生機序	鎖骨骨折の発生機序を理解している。	3	
			2 症状	鎖骨骨折の症状を理解している。		
			3 転位	鎖骨骨折の転位を理解している。		
2	鎖骨骨折	合併症、整復法、固定法を知る。	1 合併症	鎖骨骨折の合併症を理解している。	3	
			2 整復法	鎖骨骨折の整復法を理解している。		
			3 固定法	鎖骨骨折の固定法を理解している。		
3	鎖骨骨折	整復法を知る。	1 坐位整復法	鎖骨骨折の坐位整復法を理解している。	3	
			2 臥位整復法	鎖骨骨折の臥位整復法を理解している。		
			3 セイヤーの絆創膏固定	鎖骨骨折のセイヤーの絆創膏固定を理解している。		
4	鎖骨骨折・肩甲骨骨折	後療法、後遺症、発生機序を知る。	1 鎖骨骨折	鎖骨骨折の後療法、後遺症を理解している。	3	
			2 肩甲骨体部骨折	肩甲骨体部骨折の症状、合併症などを理解している。		
			3 肩甲骨関節窩骨折	肩甲骨関節窩骨折の症状、合併症などを理解している。		
5	肩甲骨骨折（肩峰・烏口突起）・上腕骨頭骨骨折・上腕骨解剖頸骨折	発生機序、症状、固定法を知る	1 肩甲骨（肩峰・烏口突起）骨折	肩甲骨（肩峰・烏口突起）骨折の症状、合併症などを理解している。	3	
			2 上腕骨頭骨骨折	上腕骨頭骨骨折の発生機序、症状、固定法を理解している。		
			3 上腕骨解剖頸骨折	上腕骨解剖頸骨折の発生機序、症状、固定法を理解している。		
6	上腕骨外科頸骨折	発生機序、症状、固定法を知る。	1 発生機序	上腕骨外科頸骨折の発生機序を理解している。	3	
			2 症状	上腕骨外科頸骨折の症状を理解している。		
			3 固定法	上腕骨外科頸骨折の固定法を理解している。		
7	上腕骨大結節骨折・小結節骨折	発生機序、症状、固定法を知る。	1 発生機序	上腕骨大結節骨折の発生機序、症状、固定法を理解している。	3	
			2 症状	上腕骨大結節骨折の合併症を理解している。		
			3 固定法	上腕骨小結節骨折の症状、固定法を理解している。		
8	振り返り	1回～7回まで振り返る	1 発生機序 症状	各骨折の発生機序と症状を理解している。	3	
			2 合併症 続発症	各骨折の合併症、続発症を理解している。		
			3 固定法 後遺症	各骨折の固定法、後遺症を理解している。		
9	上腕骨外科頸骨折の整復	外転型骨折の整復を知る。	1 第1助手	第1助手の操作を理解している。	3	
			2 第2助手	第2助手の操作を理解している。		
			3 術者	術者の操作を理解している。		
10	上腕骨近位骨端線離開 上腕骨骨幹部骨折	発生機序、症状、固定法を知る。	1 発生機序	上腕骨近位骨端線離開、上腕骨骨幹部骨折の発生機序を理解している。	3	
			2 症状	上腕骨近位骨端線離開の症状を理解している。		
			3 固定法	上腕骨近位骨端線離開の固定法を理解している。		
11	上腕骨骨幹部骨折	症状、整復法、後遺症を知る。	1 症状	上腕骨骨幹部骨折の症状を理解している。	3	
			2 整復法	上腕骨骨幹部骨折の整復法を理解している。		
			3 後遺症	上腕骨骨幹部骨折の固定法を理解している。		
12	上腕骨顆上骨折	発生機序、骨片転位、症状を知る。	1 発生機序	上腕骨顆上骨折の発生機序を理解している。	3	
			2 骨片転位	上腕骨顆上骨折の骨片転位を理解している。		
			3 症状	上腕骨顆上骨折の症状を理解している。		
13	上腕骨顆上骨折	X線の見方、相違点、後遺症を知る。	1 X線の見方	上腕骨顆上骨折のX線の見方を理解している。	3	
			2 相違点	上腕骨顆上骨折の脱臼との相違点を理解している。		
			3 後遺症	上腕骨顆上骨折の後遺症を理解している。		
14	振り返り	9回～13回まで振り返る	1 発生機序 症状	各骨折の発生機序と症状を理解している。	3	
			2 合併症 続発症	各骨折の合併症、続発症を理解している。		
			3 固定法 後遺症	各骨折の固定法、後遺症を理解している。		
15	上腕骨外顆骨折	発生機序、骨片転位、後遺症を知る。	1 発生機序	上腕骨外顆骨折の発生機序を理解している。	3	
			2 骨片転位	上腕骨外顆骨折の骨片転位を理解している。		
			3 後遺症	上腕骨外顆骨折の後遺症を理解している。		

評価方法：1. 小テスト、47. パフォーマンス評価、3. その他

自己評価：S：とてもよくできた、A：よくできた、B：できた、C：少しできなかった、D：まったくできなかった

備考等